

# 日経 BP 学外からのアクセス方法

1. 日経 BP(<http://bizboard.nikkeibp.co.jp/daigaku/>)にアクセスする
2. 読みたい記事、雑誌を選ぶ



3. 「学認アカウントで利用する」をクリックする

### ログインしてください

ご利用になりたいサービスのユーザーID、パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。

キャンペーンコードご利用の方は、提供元のキャンペーン認証URLからログイン下さい。

ユーザーID

パスワード

IDとパスワードを保存しない  
 次のログインまでIDとパスワードを保存  
 次回からログインを省略する

[「学認」とは](#)

4. 佐賀大学を入力、または選択する

GakuNin

### 所属機関の選択

サービス '[bizboard.nikkeibp.co.jp](http://bizboard.nikkeibp.co.jp)' を利用するために認証が必要です

九州

佐賀大学

## 5. ログイン完了、記事が読める

日経BP社の雑誌記事をパソコンから簡単に読める！  
バックナンバー・ライブラリ アカデミック

キーワードを複数指定できます

検索対象  雑誌記事  プレスリリース  辞書

論文・レポートを書く

37件の検索結果 1~20件を表示

キーワード |

※が表示されている記事は、一部図表・写真が除かれています。

絞り込み

すべてリセット 使い方

を  に含む記事を絞り込み

※用語解説は絞り込み対象の指定にかかわらずタイトルのみで絞り込みます。

メディア

雑誌名・サービス名

内容分類

時期

10件 20件 50件 サマリー付き タイトルのみ

最初 | 前へ | 1 | 2 | 次へ | 最後

▼ 記事を読む (日経トップリーダー、2021/05号、3~6ページ掲載)

- 新型コロナウイルスワクチン用凍結庫の製造を依頼される。数が多い上、納期も短く、少しのミスも許されない。どう対応したか。

▼ テキストで読む

▼ ツインバード工業 野水重明 社長のみず・しげあき 1965年新潟県生まれ。工学院大学卒業、長岡技術科学大学大学院修了。89年ツインバード工業入社。海外営業部長、経営企画室長、輸出管理室長などを経て、2011年から現職。国産を救うため、降率6割でも受注を決断。米モデルナ社が製造する新型コロナウイルス感染症ワクチンの保管や輸送に用いる凍結庫を今年2月、厚生労働省に5000台納品しました。さらに武田薬品

▼ 巻頭言 (日経トップリーダー、2021/05号、7ページ掲載)

- 経営の中で、最も正解がないのが事業承継

▼ テキストで読む

▼ 編集長 北方雅人以前、ある社長が全社員を集めて、こう頼んでそうです。「みんなも承知していると思うが、私の息子はおそらく社長の器ではない。けれど私は、息子が会社を継がせたい。頼むから3年間だけ、社長にさせてもらえないか。どうしても息子に社長が務まらなかつたらならば、私が責任をもって息子を引きます。下ろす」

業界でも有名なカリスマ社長でしたが、社員の前で深く頭を下りました。そこで息子に継がせたいのかと聞いた社員たちは承諾し、天使のように優しい人柄の息子が代目に就きました。

それから3年後、会長に退いた先代は、息子のクビを切ります。社長の器でないことを、みんなまで再確認した

だけの3年間になりました。こう書く「なんてバカなことをしたんか」と言うかもしれませんが、当人は至って真面目です。事業承継は実に難しい。誰に、いつ継がせるかという人選・時期・持ち株比率をどうするか、はたまた後継者との程度口を出すかなど、考えを」とは山ほどあります。

前号で掲載したワタベウエディング元会長の渡部隆夫さんは先代は51%以上の持ち株比率を死守すべしと強調していましたが、それに異論を挟む向きも当然あるでしょう。ところが正しいとは簡単には言えない問題です。経営の中で最も正解がないのが事業承継だと、つくづく思います。経営者・後継者の人間関係、会社の成長段階などによっても、事業承

継のあり方は大きな影響を受けます。加えて、最近では親族外に継ぐケースも増えていきます。社長を託せる者がいないなら、一体、誰にバトンを渡せばいいのか。そうした経営者の悩みに応える記事を今号では掲載しています。

正解がないということでは、98ページで紹介している武蔵境自動車教習所の場合、父から社長を継いだ高橋明希さんは米シリコンバレーに滞在し、日本に残る父と協力しながら、遠隔で、リモート経営をしていきます。教習所事業に代わる新規事業を見つけるためですが、これも事業承継の新しいカタチといえます。

自社に最適な手法を、自ら探し出すことは経営の基本ですが、それはもちろん事業承継にも当てはまります。

007 NIKKEI TOP LEADER 2021.5

巻頭言

編集長 北方雅人

### 経営の中で、最も正解がないのが事業承継

以前、ある社長が全社員を集めて、こう頼んでそうです。「みんなも承知していると思うが、私の息子はおそらく社長の器ではない。けれど私は、息子が会社を継がせたい。頼むから3年間だけ、社長にさせてもらえないか。どうしても息子に社長が務まらなかつたらならば、私が責任をもって息子を引きます。下ろす」

業界でも有名なカリスマ社長でしたが、社員の前で深く頭を下りました。そこで息子に継がせたいのかと聞いた社員たちは承諾し、天使のように優しい人柄の息子が代目に就きました。

それから3年後、会長に退いた先代は、息子のクビを切ります。社長の器でないことを、みんなまで再確認した

だけの3年間になりました。こう書く「なんてバカなことをしたんか」と言うかもしれませんが、当人は至って真面目です。事業承継は実に難しい。誰に、いつ継がせるかという人選・時期・持ち株比率をどうするか、はたまた後継者との程度口を出すかなど、考えを」とは山ほどあります。

前号で掲載したワタベウエディング元会長の渡部隆夫さんは先代は51%以上の持ち株比率を死守すべしと強調していましたが、それに異論を挟む向きも当然あるでしょう。ところが正しいとは簡単には言えない問題です。経営の中で最も正解がないのが事業承継だと、つくづく思います。経営者・後継者の人間関係、会社の成長段階などによっても、事業承

継のあり方は大きな影響を受けます。加えて、最近では親族外に継ぐケースも増えていきます。社長を託せる者がいないなら、一体、誰にバトンを渡せばいいのか。そうした経営者の悩みに応える記事を今号では掲載しています。

正解がないということでは、98ページで紹介している武蔵境自動車教習所の場合、父から社長を継いだ高橋明希さんは米シリコンバレーに滞在し、日本に残る父と協力しながら、遠隔で、リモート経営をしていきます。教習所事業に代わる新規事業を見つけるためですが、これも事業承継の新しいカタチといえます。

自社に最適な手法を、自ら探し出すことは経営の基本ですが、それはもちろん事業承継にも当てはまります。

007 NIKKEI TOP LEADER 2021.5